

いただいた御意見（9月）
多くの市民に使ってもらえる施設には共感する。
雨の日に子どもを連れていく施設。平日昼間に母が子を連れて相談、交流できるといい。
発達障害や人間関係に悩む親子がいる。親を含めて相談できるといい。
学校で部活が少なくなったときの社会的受け皿として、音楽やダンスなどができる場所。
平日は母が過ごし、それ以外は子供たちが過ごせる場所。
蒲郡の生命の海科学館は岡崎の子供も多く利用している。岡崎にも科学実験講座ができる施設がほしい。
実験講座ができる施設がここにあれば、建物だけでなく、河川敷も含めて外に飛び出して親子で遊べる。
スクリーンをドームにしたような施設があれば、プロジェクターを使ってプラネタリウムや会議、講演会もできる。バードウォッチングの後に映像で振り返るなど、外での活動とリンクさせられる。
川は山間部にもつながっているので、山あいの子供たちの興味も引けるのではないか。タブレットが一人一台支給されているので、紹介動画を作ってもらえれば、こどもの発想、意見を吸い上げることができる。
市内の子どもが通いやすい場所なので、こどもで賑わう場所になるといい。プラネタリウムや遊具。
次代を担うこどもの夢、希望を具現できるような場所。
科学館やプラネタリウム。
ドーム状のスクリーンにすれば、プラネタリウム以外の様々な利用を考えられる。岡崎ならではのもの、岡崎だけのものになれば、保護者も市外の子も利用する。
敷地が狭い中で難しいと思うが、ブラスバンドやオーケストラ、コーラスなどの音楽活動ができる場所があるといい。
自由に集まって音楽ができる場所。ピアノの常設もどうか。
音楽で若者が集う場所。
コンベンションは必要かと思います
竜美丘会館がコンベンションホールの機能があるなら、そちらを改修すればよい。
大人のための施設ではなく、大袈裟でなくていいので、子どものための施設を作ってほしいです。
土間のイメージは良いと思います。土間と言うからには、当然煮炊きの機能、囲炉裏端・居間の機能、つまり、人が集まり話をしたり食事が出来るホール、ダイニング機能は必須です。また、三和土（たたき）など外と地続きであっても屋根があることが、土間のアイデンティティーといえると思います。完全に屋外である河川敷、ペDESTリアンデッキや堤防、また桜城橋のように整備された外（縁側）、そして屋根のある屋内の外である土間があり、居間（ホール）と一体的に活用できるというのが、理想的な形ではないかと考えます。
科学館みたいなものが欲しいです
科学館があるといいなと思います！
小さい子供たちが作品作りをしたり、科学実験教室で楽しめるフロアを入れてほしい。
土間のようなイメージ、方向性は良いと思います。一方従来からあるようなハコ型のコンベンションホール建設には反対。提案されたものは、いずれも中途半端であり、コンベンションと言える規模感には程遠い。オープンな施設で、コンベンション的な機能と、市民が普段の生活や季節のイベントで立ち寄れるような施設。市民が未来に渡って誇りを感じられる施設。
みんなが安心、安全に使えるような癒しの空間
これらを担う子供たちが楽しく学べる場所。今ではコンベンションホールなど多様な使い方ができるので、ぜひプラネタリムを作って頂きたい
科学館のような、子供が学び楽しめる施設がほしい。プラネタリウムもあったら、嬉しい。
プラネタリウムや科学教室などが開催できるような、科学を知ることのできる施設。
コンベンション施設がある方がよいと思います。
土間の発想はとても素敵だと思います。カジュアルさもありながら、フォーマルでも使えるという形であれば、市民の役に立つ、納得のできる施設になると思います。40万人近く住む街なので、しっかりお金をかけた施設があってもいいと思います。河川緑地の活動での問題点（トイレ等）をカバーできる施設になってくれたら良いです。気軽に利用できる施設を望みます。
宇宙を考える機会があるといいです。野外などで天体観測や人口衛星とアクセスできる場所。使わない時は、デイキャンプ場所として使い、夜は天体観測。
クルワエリアの中心となるような施設
プラネタリウムの充実。
コンベンション施設については、本当に必要なか検討いただきたいです。会議室なら、市役所や甲山会館など岡崎市内には沢山あり、足りているのでは？建設費、維持費共に高額なためしっかり検討していただきたいです。
子供たちが利用できるプラネタリウムが見られるような映像シアター、科学館のような子供たちが科学に接せられるような施設。謎解きゲームのように問題や答えを見つめながら施設を回れるような仕組みを入れるとマンネリ化を防げるのでは。
科学館またはそれに類する施設、休日を含め子供達が体験できる施設やブースを持つ、多くの市民が参加できる生涯学習ができる施設。
子どもが体を動かして遊ぶことができる施設（トランポリンやボルタリング）
名古屋市科学館のような科学館。
科学実験教室やサイエンスショーなど、子どもが日常生活で疑問に思っていることを解決する場。
自然史博物館を作って欲しい
インとアウトがつながる土間空間、楽しそうです。そこに宇宙とつながるプラネタリウム、自然とつながる科学館があると、さらにワクワクすると思います。
子供たちの科学の心を育むような「自然科学研究機構」とコラボし最新科学に触れるコーナー、おもしろ実験教室や生き物に触れるエリア、定期的な科学マジックショーの開催、プラネタリウムや岡崎の自然を紹介するような映像が見られる巨大スクリーン。
科学館、プラネタリウム
プラネタリウム併設の科学館
日本家屋のイメージは悪くないと思いますが、子供たちの学習の場としての活用もお願いしたい。科学館となるとやや手狭な感じがしますので、プラネタリウムの映像シアターだけでもあると一般の集客も見込め、子供達の学習にも役立つと考えます。
科学館がほしいです。夏休みの自由研究で利用できる実験観察室や科学の不思議を体験できるコーナーなどあるといいです。学校が教育活動に活用できるようにして、授業連携も図れると活用の幅が広がると思います。
オープンで臨機応変な使い勝手が良い施設と言いたいことは分かるが、土間という例えは古くさくて暗い印象を与えるのですぐにやめた方がよい。一般市民も利用しやすい施設であることをアピールし、貸しスペース、オープンスペース、のような言葉でアピールしてはどうか。従来の古くさくて暗くて大きいだけの閉鎖的な建物ではなくオープンで風通しがよくオシャレなイメージの施設にできれば、人が集まる場所になるのではないかと。
科学館、プラネタリウム、映像シアター
こども科学館

いただいた御意見（9月）
コンベンションホールについては、自分自身は正直あまり必要性を感じませんが、企業等が必要としているのであれば、建設したら使ってもらえて経済効果があるからいいのかな、と思います。科学館やプラネタリウムの設置を希望します。ホテルやコンベンションホールの1フロア(もしくは一角?)を科学館に、でもいいかと思います。科学実験や映像シアターを見られるコーナーもいいかと思います。
科学実験の体験ができたらと感じました。他にもプラネタリウムが岡崎市内にできれば子供も大人もうれしいだろうなと思います。
科学館のような施設、プラネタリウム
プラネタリウムの施設を備えた科学館
リモート作業ができ働き方改革につながる場所など、個室があるといい。市民が集うことができる会議室。子供の学習場所。趣味講座ができる場所。
料理、パソコン、講義など
化学実験ができるような施設
自然科学研究機構とのつながり（科学のひろがり、プラネタリウム、科学シアター、御影石（花崗岩））、菅生川とのつながり（花火）、桜城橋とのつながり、岡崎公園とのつながり、独立した施設ではなく線の中核となるようなイメージ
名鉄と愛環とをつなげる総合駅
岡崎市の貴重な生き物を保護しながら、それらを見ることができ、季節を感じることでできるビオトープの公園
科学館のような施設
岡崎公園の杜と、乙川の水と一体に考えること、駐車場の確保は必要。多目的全天候広場と会議室やレストランを含む出会いと創造の空間、フードトラックなどが集うイベントスペースで賛成です。子供たちのためのプラネタリウムあるいは、室内型アスレチック（浜松市こども館のような）、豊田の鞍ヶ池公園の屋根付き遊具などの施設ができれば楽しい。
さまざまな会議で使えるコンベンション施設、家族で楽しめる科学館やプラネタリウム、ペットと過ごせる場所、憩いの場所になるとよい
商業施設。コンサートホールや、イベント会場など、ファーマーズマーケットを開催できるスペース。
子供たちの情操を伸ばすための施設（例えば、科学館など）。ミニステージも設置し、発表の場としても利用。
土間のイメージはとてもよい。プラネタリウムや映像シアター、VR、科学実験ができる科学館のような施設
土間のような活用に加えて、子供たちが集うプラネタリウムを備えた科学館が併設されるとよい
体感できる科学館、プラネタリウムを兼ね備えた施設
コンベンションやカフェはともいいと思いますが、やや大人向けな発想です。岡崎の子供たちが、岡崎市の中心にある、岡崎城の目の前にある、こんな素敵な場所で、岡崎市のいろいろをもっと知ってもっと好きになって、将来もずっと誇りに思ってもらえるような場所。
岡崎の自然を紹介したり、身近に実験ができる科学に親しむ施設。岡崎の歴史的一緒に学べる施設。
雨でも遊べる屋内施設（遊具）
障がいをもって外に出かけにくい子も来やすい場所、環境。
屋内、屋外の両方が使える施設。普段は自由に使用でき、屋内では講演や発表会などもできる場。
ユニバーサルデザインの施設。
河川敷のイベントと連携して使用できる。
施設のシンボルとして屋外の入り口に花壇。
図書館やスポーツジムなどの総合的な施設。
岡崎の木を使う。
いろいろなスポーツを楽しめる場所。体を動かした後に休憩してから帰れるようなカフェやシャワールーム。
ビオトープをつくる。地域の人が交流する憩いの場。
みんなで楽しめる運動施設。
岡崎特有の食べ物などを販売する。岡崎の良さをもっと知ってもらえる。
運動することで健康につながる。市民の憩いの場。
太陽光パネルを使うなどして省エネやエコに貢献。
スポーツ施設と売店。コロナ禍で運動をしていない人の運動の場。売店で経済効果も。
スケートリンク。子どもでも大人でも楽しめるスポーツで健康づくりができる。
スケートボードができる公園。オリンピックで注目の競技で話題性も。若い人が集まる。
バスケットコートと、バスケットをするこどもを見守りながら休憩できるカフェ。
フリーマーケット。小中学生が販売体験の場にも。
電気などの科学的なことを紹介できる科学館。
老人ホームと子供の家を合体させた「みんなの家」。子どもを預けることができ、お年寄りから子どもまで集まれる場。
岡崎の特産物を販売する店やカフェ。岡崎の良さをたくさんの人に知ってもらうきっかけに。
中学生や高校生が主に使えるような広い勉強スペース、カフェ。
外に植物を植えて緑を多くし、目に優しい環境を作る。
屋根に太陽光パネルをつけて電気代を節約する。
スポーツ施設。休憩する屋根にはソーラーパネルを設置する。
1000人以上の規模で会議ができるコンベンション施設。
Sunshine Park 老若男女問わず障がいの有無も問わず、皆が楽しめて便利だと感じられる場所。
市民館を作る。
流行しているお店と木材で作る遊具。
スポーツ施設。飲食店を設置し一日中そこにいられるように。
ペットを連れて雨の日でも散歩ができる交流公園。
バスケットコートなど、何でもできるパーク。
幅広い世代の人たちをターゲットにしたほうがいい。
植物（芝）を植え、公園・広場にする。
学生が使えるフリースペース。中学生が屋外、室内で自由に遊べる場所。
川と岡崎城と太陽の城跡地を岡崎の魅力にする。コンベンション、ホテル一体化して、名所になるような形を考える。
岡崎ゆかりの人のミュージアムみたいなものをつくる。
岡崎城の眺望がいいので、市民が気楽に休憩でき、土間のような井戸端会議ができるような雰囲気を作る。
国際会議はそうたくさんないのでコンベンションは300人くらいが入るようにする。
市長のスケッチみたいに幕構造で、屋根下で会合をしたり、雨の日は伏せたりできるといい。予算や維持管理、改修しやすさを踏まえること。
自然科学研究機構は岡崎の頭になるような研究所なので、岡崎の魅力として発信できるようなものを。
農業大学校にある講堂を移築。建造物を作らずに日影ができればいい。
アウトドアでサミットなどアウトドア空間利用はいいことだと思う。

いただいた御意見（9月）
豊田やＪＲにつながる中岡崎駅があるので、ＱＵＲＵＷＡからもう少し広げて考えるといいのではないか。
カジュアルやフォーマル、インドアやアウトドアなどをすべて取り入れることは可能。建造物を作るのではなく、ランドスケープや外構の考え方で、まちに川を接触させられるこのエリアだからこそ可能。
河川の機能、運搬の場としこの機能も見直した中で検討をかけると、インバウンド的な成果も出せるのではないかな。
普通のコンベンション、どこにでもあるものではダメ。ひらかれているものがあるのはいい。
交通のアクセスが大事。駐車場整備は大事だが、駐車場ばかりに取られるのも危険。循環バスとかを整備して、康生まで来られるものがあるといい。
40万都市としてこれだけの施設があることはいい。矢作からも利用しやすいアクセスしやすいものを考えてほしい。
多目的に何かができる施設がいい。会議室ばかりでは何ともならない。
会議や、会社で商品プレゼンするとき場所がない。ニュグランドだけでは何ともならないし、竜美丘会館では使いにくい。
会議室など、市民の皆さんが普段使える施設がいい。河川敷、岡崎公園、城、川が流れているというロケーションを生かす。
子どもが気軽に行けるように、名称は、コンベンションという固い名前ではなくて、あおいホールみたいに。市民が集える憩いの場所に。
地下や立体にして、緑地や広場で日影になるような場所ができればいい。
コンベンションホールは必要ない。中止と思っていた。
川があって、城があって、川がカーブしているこの場所はすばらしい。こんな場所はないので、集まるような場所が必要。
開かれたアウトドア空間は大歓迎。土間のイメージは、文化に根差しており、外と中などをつなぐ中間のものとして、是非取り込んでほしい。
この素晴らしい場所で、景観に合ったデザインでやれば違和感のないものができる。
東岡崎からの交通としてモルルールなり、違った手段を入れることにより足をよくする。
東岡崎から出たときにどこが岡崎の正面かわからない。玄関口がわからない。なるべく駅に近い場所で、岡崎の玄関口としてわかるような形で整備してもらえるといい。
玄関口に土間があるというのは、外部からも中からもつながれてよい。
電車通から施設を見たときに、高いものはどうか。お城側にマンションが建っているなかで、対岸も高いものが並ぶのは景観的にどうか。景観を崩すようなことがないような形でできるのが一番いい。採算性があると思うが、低層で5、6階くらいに抑えられるといい。
高い建物が電車通り側にもってこれれば、まわりと調和していい。
敷地は足りるか。土間の空間として、半屋外的空間はある程度の広さがないと素通りして止まらなくなる。事業敷地として適当かどうか判断が必要。
自然科学研究機関の発表は一般の人が見られない。そういったものが、太陽の城跡地でないとみられないようにできればいい。
この敷地だけでは狭い。この場所を土間的に市民に開かれた場所とし、岡崎城の東側の広場をコンベンション整備するとか、対比的な使い方ができれば、外につながっていく象徴的な施設になる。
中総、市民会館、竜美丘がある。コンベンションは中総で幅広く使えないものか。交通手段としては、マイクロバスで対応もできる。考え方を柔軟にできないか。
岡崎の顔として、もっと駅から開かれてほしい。川をオープンにして、お城の方向に開かれた土間空間として広い空間を目指してほしい。
跡地に、ホテルのような高いものを立てると、城の視野が狭くなってしまうので好ましくない。
中岡崎からもアクセスができるように同時に考えていくことも必要。完成に合わせて整備をしていけるといい。
周りとの関係も考えて、建物を南側に持つとこれといい。
大型バス観光客が駐車できないことが問題。観光で活性化したいといっても、バスターミナルがない。
岡崎の人は東岡崎からの話をするが、豊田からすると中岡崎から花火を見に来る。中岡崎にも目を向けた整備を考えるといいのでは。
東岡崎から東のペデストリアンデッキができたが、あっちが顔なのか。やはり城がシンボル。どこからでも見られるといい。市の魅力のある顔を考えてほしい。
桜城橋も人が歩く橋にしては魅力がない。空中通路を太陽の城の方までつなげるとか。
モルルールを太陽の城までつくる。歩かせる魅力はないから、歩くような魅力づくりはたくさんやらないと。
土間の近くには小川があるもの。土間と河川のコラボをクローズアップしたほうがいいのでは。
建物自体が目的地となる象徴的なホテル、一度足を運んでもらう機会となる施設
観光と地域活性化のため商店街のお店や商品を展示し商店街へ誘導する空間
観光案内所を設けて会議利用者に岡崎を楽しんでもらう
図書館と喫茶店 地域の方も気軽に利用できるように
子供が遊べる、屋上や屋外とつながり、雨の日でも利用できる施設
駐車場を大きく 市内周遊を目的とした人も利用できる
周遊バスの出発点として市内観光の起点に
岡崎市を知ってもらう、観光の拠点
岡崎市の伝統を観光客だけでなく子供に伝える
グループ旅行やファミリー層が利用するようなホテルが必要。帰るときにはお土産を見てまた来てみようと思う。
工芸品の製作を体験する施設
子供向けにはせず子供も楽しめる施設
岡崎城の眺望を生かしたステージ、周囲の木々を活かし景色を楽しめる施設
岡崎らしさ、味噌樽、石製品を生かしたインテリア
会議室などは空間が一つ一つの部屋に区切られていてもガラス張りでお互いを感じられる
木々が内部にしみこんでいるような建物
岡崎の魅力を再発見できる、拠点の賑わいが岡崎中に広まるコンベンションセンター
中高生や高齢層が使える施設、みんなが使える温泉、観光客が休憩できる足湯など休憩施設
温泉、足湯など既存の催事や伝統行事を彷彿とさせる要素
趣を感じさせる喫茶店、クワを回った疲れをいやせる空間
LEDビジョンなどを設け、室内に奥行きを出し閉塞感を解消
施設を段丘状にして手前から奥に盛り上げることで土手から施設へのつながりを生む、花火大会では丘で寝そべることができる。
中高層のホテルが川岸にあると圧迫感を感じる。高いホテルを東側に寄せることで東岡崎駅から岡崎城の視線をさえぎらないように
川からゆるやかにつながる隔たりを感じることのない空間、縁側からホテルやコンベンションにスムーズな移動
カフェでお茶を飲みながら夕焼けや花火を見る
乙川を楽しんでもらうために、物語を作る場所。活動の支えをする場所、誰もが主人公になることができ、一人一人が大切にしたい物語が生まれる場所。この場所だからできる、誰にも開かれたいろんな年代や活動が集まる場所。
地域産材を使う、木のある場所
一番大事なのは子供から年寄りまで、障がい者まで受け入れるウェルカムな人、夢を実現させてやろうという人に運営してほしい。
みんながやりたいことができるスペース

いただいた御意見（９月）
魚、鳥、多様な生き物、自然がたくさんあり、小さいころから獲って遊んでいた。そういう体験をこれからの子供たちにもさせてあげられるような環境を維持しながら開発してほしい。
子供のための場所。森とのつながり。その二つを合わせたような施設。市の木をふんだんに使って、子供が遊び、学んだり感じてもらう施設。
子育ての舞台、温かく子育てができる場所を残してほしい。
網と虫かごで遊べる場所。安全管理のためにライフジャケットをレンタルするとか、建物から川に降りてきやすくなるような仕掛けがあり、人の温かさが残るような場所。
未来にわたって継続的にやっていくなら、どんなに良いものを作っても使われなければ続かない。この場所を愛して、愛し方を知っていて、伝播させる人たちに関わってもらえる仕組みが大事。
バリアフリー。身体障がい者の人がアウトドアアクティビティ、スラックラインなど、できないと思われる活動を個性に合わせた遊び方ができるような施設。
市の中心部で文化的なことを支援してもらえるようなものを作ってほしい。便利な場所にあり、ある程度長い期間にわたって使っていける練習場。
利用料をとっても、施設がきちんとしていれば集まってくると思う。
岡崎には文化的な価値がある。文化、教育、芸術を中心に輸出していくべき。
あまりにいろいろと入れてしまうと、かえって特色がない、使いにくい施設になってしまう。絞り込んだ特色のある施設が欲しい。南公園など、各地区にマッチした施設を考えてほしい。
全国大会に行っている団体があるが、岡崎の市民会館を使って演奏会をやらない。どうしたら岡崎でやってもらえるか。優秀な人材がいっぱいいる。もっと活用できるような場所を考えてほしい。人材を岡崎で発掘。立派な施設があれば、発表する機会もあるはず。
他所からも人が来るような、立派な音楽ホール
駅から近くて、年を取っても使えるホール
大きな建物を作れば、駐車場が必要になる。大きな車を利用していると太陽の城周辺は車の動線が複雑なので敬遠する。
ここで全天候型は規模的に無理がある。河川敷自体が水遊びとして適切かどうか。あまりにもいろいろと盛り込みすぎて収拾がつかない。
中高生も立ち寄れるよう、駐車場より駐輪場整備
土間を作るなら、くつろぐ場所、カジュアル、ごろ寝、ホテル、もう少し練ってもらって急がないといい。
土間のイメージがわいてこない。もう少し時間をかけてやってもらいたい。
市民が各年代層集える場所
岡崎に本当に必要なものは何か。コロナ、どこにお金を使うべきかが変わってきている。
企業の人は本当に利用しようとしているか。産業に、建てたら使うかアンケートを取ってみては。
子供の施設を作ってほしいと思っていた、万博公園にあるような子供が遊べる児童館。時代の流れに乗っておしゃれで若い人を呼ぶのではなく、弱い人たちが気軽に使える施設が欲しい。
親子で遊べる場所、雨が降ったときでも遊べる場所
市民団体活動室、福祉の村で高齢者が無料で利用できる施設
ホテルは不要。なぜつくるのか。ホテルはいっぱいある。岡崎市が土地を貸してつくらせてどうするのか。
土間の考えがあるんだったら縁側を見直してみるのも大事。乙川とどうつながるか。ものすごく自然とのつながり求められるようになった。空気がよどみなく流れている感じ。
川とのつながり、川のアクティビティ、川を使う人が使いやすい、使いたくなるようなところ
関わりたい、行きたいという動機をいかに作るか。もういちどひとが集まる場所を作りたい。
こどもたちが遊べる施設。冒険をするということはどういうことかを入り口に、遊びを介在させながら、遊びの先に学習するという流れが生まれるといい。
フォーマル、カジュアルをまぜこぜで考えているのはいいやり方。稼働率はすごく重要。
すでに活動している大人たちを引き寄せ、土間、縁側、テラスをつくり、運動させられれば、市民はつながりがすでにできているし、もっと出せる。
すべてを包括していると施設としての特徴がぼんやりするのが心配。両方とも存在していいが、アウトドアが生かされたカジュアルな施設だといった方が日常利用が進む。フォーマルにも使える。メリハリを作った方がいい。
年間通じて人がくる施設を考えた方がいい。コンベンションがどういう施設であるべきか。土間空間で気軽に来られるのは素晴らしいこと。中身を考えられるといい。
子供と親が使える施設、高齢者が使える施設。文化芸術施設。
コロナ禍の今は何も作らないで、２、３年少しきっちり構想を練って、市内にどのような施設をどのように配置をしたらいいかまちづくりで市民参加のもとで検討することが必要。
コンベンションをそのまま、一部施設を市民施設に変えるのは民意ではない。コンベンションの一部見直しによる建設とホテル誘致は、民意を問うていないのではないのか。
太陽の城跡地に雨の日に遊べる施設は一案だが、南公園に導入予定の施設との関連はどうするか。施設の全市的な配置計画を検討することが必要。
総合福祉的な施設がいい。
観光によって人を呼び込んで、市財政に持ってくるという発想は、今後は避けないといけない。
ホテルを作ることで、市にある住民のやっているホテルの運営はどうなるのか。岡崎のホテル、旅館をつぶすのはやめてほしい。
コンベンションホールは地域の活性化、経済の好循環につながるか
企業、若者、高齢者、市内外の方、幅広い世代、場所から訪れる、すべての人が楽しめる場所へ
コンベンションホール 多機能ホール、カフェ、芝生広場、みんなの使える場所、会議、コンサート、スポーツ、講演会など多目的に使える場所に。
用途に合わせて椅子の場所を移動できる移動観覧席
日常を彩るスペース、イベント、バーベキュー、遊べて緑豊かな幸せな空間
平日は高齢者、子供連れ 自然の中で散歩、学校帰りの学生が休憩。休日は家族連れ、学生、気軽に来られるイベント、キッチンカー。
人を問わない（子育て中のまま、近隣住民、ホール利用者）、時を問わない（隙間時間、散歩ついで、ランチタイム どんなときでもゆくり）
経済効果、市民の生活水準が上がる、世代を問わず活用できる場所。
人と人をつなぐ、子供たち、だれもが使う施設を目指す
ホテルは不要。駐車場にした方が効率的に使える。いろんな人たちが使う施設にしたいから駐車場150台では足りない。駐車場にするとほかにも活用できる。桜祭りや夏祭りで活用。
地元の人たちや観光客が利用できるスペース、例えば、分割使用のイベントホール、公民館ほいもの、イベントホールの長所は雨天でも使用可能で、だれもが使える、避難所として使える。
分割イベントホール、上映会、子どもが集まって映画鑑賞、雨天でもグルメフェスが可能。コンベンションも会議室にとらわれず多機能に
乙川を使ったレジャーを推していきたい。子供から大人まで楽しめる施設、経済活性化、市民、市のため
市民が使えるものをホールに併設すればいい。ホテルは建てる必要はない
市民向けのホール 景観がいい場所を、観光客向けのホテルと客層が合わない
ホールで会議が行われていないときの利用が課題

いただいた御意見（９月）
ホール併設はテラス、キッチンカーを定期的に、市民が楽しみ、キッチンカーから使用料を取る
川の利用に向けて、今あそこで遊ぶには抵抗がある。遊ぶにあたっての他の施設が欠けている。シャワー室があれば大胆に遊べる。子どもも多く見込める。監視員がいれば、安全性が上がり、母が遊ばせやすくなる。
オカザえもんタワー、上空から見てインパクトのある建物にしても（上から見てオカザえもんに見える）
気軽に使えるスペース、市内の人々の交流、気軽に仕事ができる場所、ワーケーションの活性化
ターゲットは幅広い年齢の市民
市内企業やお店がさらに発展するお手伝いができる場所、ビジネスマンや市外企業が利用するように
市内企業の紹介、市内で店を経営する人や、市の魅力を紹介したい人が自由に発信、紹介したいことを自由に書き込んだり、すぐにSNSで情報を得られるようにする。実演や体験などで実際に行っていただく機会を作り、買ってもらえれば経済効果も生まれる。市民が足を運んでくれるよう外にアンテナショップなど人を呼び込む工夫も。
外観は川との一体感を重視し、透き通ったガラスを使用。
企業向けな堅苦しいホールではなく、市民が気軽に使える、習い事の発表、予約が入っていないときには自由に使えるスペース
子どもが遊べるスペース 暑いときにも子どもが遊べる開閉式の屋根、樹脂製の床
勉強仕事スペース 岡崎市の学生はりぶらやイオン、フードコート、カフェを利用しているが、りぶらでは話せない、カフェではお客に申し訳ないなど、気軽に勉強できていない。会話OK飲食OKで勉強できるように。
施設利用者も気軽に利用できる、快適に勉強仕事できるようカフェを設置する
子供向けの施設
シティホテル建設に反対 採算が取れない、市民は泊まらない。市外から来た人は部屋や駐車台数がある周囲のホテルに泊まる。
他の施設がいい。りぶらや竜馬丘会館、会議で使う建物が他にもある。建設提案時の使用希望者の大半はオンラインに移行。コンベンション施設ではもったいない。
0から10歳くらいの子供向けの施設がいい。岡崎市は子供を育てやすい、地価が安くて、教育環境も整っている、産休がとりやすい大企業もある。それをさらに進めるべき。
市外から移住してくる保護者も多い、保護者の交流施設。子供が遊べる、保護者も満足。カフェを入れて交流しやすくする。
料金は未就学児が無料。小学生はわくわくカードで無料。駐車場も200円で一律。料金は議論すべき。
壁に乳幼児から小学生向けの遊具を設置し乳幼児が安心して楽しめる施設。壁の使用でスペースを省き集客人数を増やす。大きなアスレチックで広大な敷地を利用して小さい子供たちが楽しめるゆとりある空間とする。
1階は子供が遊べる施設、こどもがけがをしない丸い壁、2階はカフェ、下で子供を遊ばせる。カフェは吹き抜け、子供を見ながら安心して過ごせる。カフェは道をはさんで川とつながっている。
みんなが平等に安全に使えるバリアフリーな施設。車いすやベビーカーが過ごしやすいような間取り、多目的トイレ設置。駐車場も身障者用をいくつか設ける。
城見通りは危険。夜は暗く、雨の日は危ないので街灯の設置、高齢者や子供が使える設備。
福祉は多くの人の生活に貢献。障がい者にも。太陽の城跡地は福祉メインに
ターゲットは岡崎市民、目的は町の賑わいとし、市民が楽に使用できる施設、市民のための施設
幼稚園児から大人まで、インドア派、アウトドア派のどちらも楽しめる
アスレチック広場 屋上までアスレチックで行ける、開放感もあってボルダリング 友達と対決も
カフェはおしゃれのカフェでなく、土間風、芝生風のカフェ。幅広い年代が使える
イベント広場 ハロウィンイベント、キッチンカー屋台、マルシェ
経済の活性化、街の活性化を目的とし市内外の企業をターゲットにホテルとコンベンションホールの複合施設
ホテルは建てる必要がある 市外の企業もターゲットにするためには岡崎に来たくなるような施設が必要、コンベンションだけでは人が集まらない
レストランをホテル内に設置 価値のあるものに金を使ってもらえるように
1,000人規模のホールは毎日使われないので、市民にもイベント会場として利用してもらう
いろいろな目的の人が集まるので、それぞれが充実した空間になるよう入口とエレベーターを分ける
8階建てで、下半分は企業向け、上半分は市外から来た企業や観光客が利用。3階大会議室。市内外の企業向けの30人程度の会議室。4階小会議室（10人程度）毎日使われないので、空いているときは市民利用。会議室の壁を移動式にして、グランピングもできる。6、7階はホテル。
6階は企業のビジネスホテル、7階は観光の指定ホテル。記念日に利用してもらえるレストランを8階に。二つの施設を一つにすることで企業も市民も使える新しいスペースに。
会議室、ホテルの建設を中止。子供から高齢者、障がい者まで幅広く使える施設に。
ホテルは不要。市民は泊まらない。市外の人も岡崎には泊まらない。ホテルは立体駐車場に。市長は、バスで来てほしいといった。障がい者にも来てほしいので、公共交通をうまく使えない人が来られるように。
会議室がいらない理由 1,000人で会議をすることはない。竜馬丘などほかにもあるが、去年の一番多いのが10,000人。市民の意見では会議室の需要はゼロではない。
自習室兼会議室。普段は自習室として使い、予約により会議室として使える場所。
障がい者運営のカフェ。
障がいのあるないに関わらず地域の人と交流でき、すべての人が健康で住み続けられる場所
住民が災害時に活用できるもの、大型防災倉庫水素ステーション（水素ステーション一つ市街地から外れている）水素発電機も設置
中心地にアスレチックがあれば目当てで来る人がいる。子育て相談センターで子育てについても相談ができ不安がなくなる。
子ども食堂、子どもと地域のふれあい、ひとり親家庭で夜に一人で食事をする子どもや食品ロス解消への取り組み
ひとりバーベキュー場が話題になっている。家族で楽しめるのは一人で入りづらいが、一人でも来やすいように器具、材料を借りられる、材料を普段なら捨てられるものを利用し食品ロスを減らす。観光客も利用しやすく材料仕入れでクルワとつながる。
有名アーティストが来ればホテルも利益に 近くの学校の演劇、合奏を招待すれば地域のつながりも生まれる。たくさんの花を植えイベントないときも中で楽しめる。
生き物紹介やごみの自然に与える影響を伝え、自然を大切にしようと思ってもらう。
大人や子供が遊べる自然アスレチック、自然と触れ合いながら遊べ、自然の大切さがわかる
自然にあふれた町、食品スペースと複合遊具のある交流スペース。避難場所にもなる。岡崎公園は歴史、ここは遊び場。
植林スペースを設け、CO2削減につなげる。複合遊具を設置すると市民の笑顔と安心安全なまちづくりにつながる。
ごみが少なく住みやすい街。リサイクル施設とスケートボード、リサイクル意識が高まる施設を作り、リサイクルしたもので今人気のBMXスケートのパークを作れば岡崎市の活性化にもつながる。
季節ごとの伝統行事工芸を体験、家康行列、花火大会などの大きな行事、和ろうそく、ガラス工房など伝統工芸が目立っていない。小さな伝統工芸を受け継ぐために体験を通して岡崎に歴史を残す。

いただいた御意見（９月）
地域に密着した施設、おもちゃ屋、籠田公園までいかないとないので買ったもので公園ですぐ遊べるように。
グリーン基地。ごみ問題、自然環境を学べる体験型で遊びと軍手の貸し出し、ごみ袋を配布しごみ拾いでポイントを貯め抽選。
ごみをリサイクルした遊具 リサイクル率県で25位。小さいうちからごみ問題に関心を持つ。
プラネタリウムが周辺の市にしかない。他市のアンケートではリピート率半数。多くの年齢層が楽しめ、クルワにも客が流れ経済成長も期待。入場料市民割引、学校での利用も。
キャンプ場。太陽の城跡地は国道１号248号もあり楽に来られる。自然の生き物への関心、子どもが学習に興味を持つ。普段経験しないことに取り組み自尊心を育てる。
科学館。自然科学研究機構がある科学の町として、地域の自然と自然科学研究機構を組み合わせ、科学技術を通して自然を見る、日本最先端の技術を学べる施設。
桜迷路。周りを屋台で囲み、桜を鑑賞する屋台でご飯を食べる。年齢性別を問わず楽しめるようになる。桜をもっと増やし小中学校に寄付すれば市が桜であふれる。
マーケット。地元商品を使い地産地消、低価格で新鮮な野菜を食べられる。 地元商品が買える地元の食文化を知ることができる。仕事帰りの人も通いやすい場所。
岡崎城、家康公、八丁味噌など魅力があるがもっとよくできる。
カフェ、食品ロスが大きくなっている。畑の食品ロスをスーパーや農家と連携して賞味期限切れ間近の畑の食材を提供する店。インスタ映える内装。体験型科学展示。アートも体験型が主流。チームラボのようなデジタルアートに触れられる。ガイドツアーで市民、人が集まる。
川を活用できるグランピング施設、安心して子育てができる子育てセンター
世界の料理が食べられるレストラン。様々な国、文化に触れられる。世界の文化を知り、生産の手助けになる。
スポーツ施設は87箇所ある。愛知県は全国で３番目。お金がかかるジムはあまり運動しない人は入りづらい。公園にも簡易的な運動遊具を置きどの年代にも気軽に運動してもらえ、家族交流のきっかけにもなる。市民がより健康になる。
緑や川を守りながら人を集める。家康とか戦国時代を体験できる遊園地のような場所、家康の関係施設を作り岡崎市の存在をアピールすることで子どもに家康のことを伝えられる。太陽の城だと遊園地には狭いのでARVRを使って、実際にあるように作った方がいい。VRで火縄銃の体験とか仮想世界で簡単にでき話題性もある。場所も必要としないので自然も守れる。
子どもの自然科学研究機構。本物の機構の研究成果の発表、体験できる。日本では小学生の夢の科学者が年々下がってくる。機構と連携し科学に興味を持ってもらい、自然科学を学ぶ。
障がい者や女性やりたいことをやれる場所。女性や障がい者が社会進出できる環境が不十分。障がい者、女性、高齢者の交流会など、男性だけでなく障がい者や女性も社会進出し、交流し人間関係を作る。
防災、災害を体験する室内型災害体験施設。令和２年のアンケートで７割が防災イベントに参加していない。観光スポットとして忙しい人でも休日に行きたくするような、お年寄りも防災訓練ができる気楽に利用できる施設を。川を利用する防災訓練。駅からも近く、雨の日でも来られる。観光客が周辺のお店を利用し経済効果を生む。
若者からお年寄りまで親しまれる商店街。訪れる人が少ない、街の顔の認識はない。今までにないスポットを作れば商店街を利用し地域の人とのコミュニケーション、様々な助け合いにつながる。転入者が地域の人とつながり安心して暮らせるように。
スポーツセンター。ほかのスポーツセンターと違って、器具を使って発電しエネルギーを生むことで電気代を減らす。運動不足で命を落とす人に運動してもらい健康に、子供から大人まで一緒に汗を流し地域の絆にもなる。
天然芝があって冬に使える体育館 市内には冬に使える体育館が少ない。バスケットゴールがほしい。お土産が買えるスポットも観光客が利用する。市産材の木製テラス。
観光客を集めるための科学館 名古屋市科学館は多くの観光客が来てくれる。名古屋市科学館と違うものを。環境問題をVR体験、今後起きてしまう環境問題を知ってもらう。観光客が増え住み続けられる街づくりに。
保育施設で働く人が少ない。認可外保育施設のベビーホテルを作り、資格なしでも働ける場所を。保育資格のない人が多く働くので安全性を確保するため、独自の入社試験で対応。子育てをしている人でも働きやすく。園庭を自由開放する。
駅前などで県外からのビジネスなど、身軽な格好で来る人が多い。そういう人がホテルに併設される施設を使うのは、ここじゃないといけなもののしか使わない。交通の便は名古屋に負けるので、名古屋にあるような施設は使われない。
福祉施設は場所にあっていない。もうちょっと別の場所でも考えられる。
どうする家康が始まれば、岡崎城に行ってみたいに変わる。普段大河ドラマを見ない層も見る。城に行きたいとなったときに東岡崎駅を使う。県外からの来訪者、市外からの来訪者が増えると予測すると、よそから人が集まる人が使う施設が妥当。
今後少子高齢化で福祉にかかるお金が増えていく。 高福祉には高税金が必要。稼ぐ力をつけてほしい。
岡崎でないと、ここでないとない、特徴のあるものを作る必要がある。
建屋がなくてもオープンな形でライブができるとなれば、若い人たちが集まれる。若い人たち、特に中高生は車じゃ来れないので電車で来る。帰りにお店に寄ることもある。
みんなの意見を全部取り入れると費用も莫大になり中途半端なものができてしまうので主だったものだけ、大まかなものを作ることが大事だと思う。
コンベンション施設の必要性は、将来ビジョンとの関わりをPRしたほうがいい。
このゾーンに来たら何でもわかるような施設。犬山のリトルワールド。岡崎市のリトルワールドのような。
福祉の町岡崎を目指すにしても、扶助費や助成金は生産性のあるお金ではない。どこから歳入につながるような施策を考えていかないといけない。太陽の城跡地は都市計画変更までし商業施設を誘致しやすいように手を打ってきた。 商業施設、交流人口を増やせるような施設を。
１． いったん白紙にして再度民意を問うてほしい。住民投票条例、万人規模の大規模アンケートを取るとか
２． どうしても12月までに建設決定をするなら納得いく説明が欲しい。東岡崎の再建が決まったと市民の声岡崎の会で聞いた。その再建計画はどういうものなのか。市民が知ったうえで民意を問うべき。東岡崎の進捗があるなら聞いたうえで民意を問うべきではないか。
３． 決定したら決定の事後説明や報告会をこのような形で開いてほしい。
郷土館の機能が岡崎市にはないので、教育と合わせて歴史の一片を展示する施設を。郷土館も音楽ホールとして利活用できないか。
何をつくるのか。どこに重きを置いているのか。わからない施設をつくれるのなら、いまの価値を再検討してほしい。今の価値を壊すようなことはしてほしくない。現地に足を運んで感じてほしい。
中心市街地の整備を考えた、最も効率のいい施設を作してほしい。この立地に対して効率のいいところ。寄せ集めるほどいいものがない。城からの景観からして、正面に目立つ場所になる。やはり岡崎だなと思うものができるとは賛成。集客が見込まれればいい。
プラネタリウムは名古屋にも豊田にもある。岡崎にしかないものをつくる。儲かるではなく、魅力のある場所にしていけば、自然と企業の投資が出てくる。どこにでもあるものは魅力がない。
どこでもできるホテルとか施設を建ててもしょうがない。岡崎市であるもの、来てみたいと思う、他にはないもの。
駅に近い、国道に近い、繁華街に近い。あの場所が空き地であることのほうが意味がある。きれいに何にも使える多機能広場、遊具、シンボルツリーにしておいたほうがいい。
岡崎の特徴あるもので生かす岡崎をつくりたい。大きな施設でなくてもいいので、個性豊かで地産地消を生かしたまちづくりにしてほしい。
楽しみながら学べる施設

いただいた御意見（9月）
広域的なコンベンションセンターはとても賛成。いろんなことができる施設がいい。アウトドア、乙川の他の施設がたくさんあり利用できる。広く使えるといい。りづらみたいに川沿いにアクセスしやすい施設になれば、川で遊ぶにもいい。
コンベンションの中、壁や仕切りが自由に動かせるといい。狭い会議や広いコンサートが自由にできる。大きさが設定できるWSスペースを設けるといい。
子育て世代がシニア世代と交流できる施設ができると面白い。
プラネタリウムはそこに作ると小さい施設になる。作るなら歩いていける距離の籠田公園のそばやリブラのそばとかにあるといい。
夏休みに酷暑の中外で遊ぶのは難しいので室内型のプールがあるといい。乙川があるので夏に遊べるような環境を作ってもらえるとありがたい。
地震や水害が来る可能性が高い地区なので応用ができる施設
いろんなコンセプトがあって総合的に入れていただくのはいいことだが、想像する広さからはどれも中途半端になってしまうと感じる。
1,000人規模の集会、岡崎市でそんなに需要があるのか。もしそうなら、シビックや市民会館のホールがある。活用して、新たに1,000人以上の需要があるなら入ってもいいが、そんなになら子供のための施設、老人施設などに絞って建ててもらえるとより充実したものができると思う。
雨でも使える施設はお母さんが本当に望んでいる。屋根を開け閉めしたら子供たちも喜んで走り回れる。親もそばで安心して見ていられ、気分転換も図られる。プラネタリウムや博物館。それがあると大人も喜ぶし、子供といろんな体験を共有できて面白い。
東公園に恐竜は女の子も男の子も登って遊んでおり、すごい集客。そういうのがあると他市町村からやってくるかも。
会議ばっかりという施設もいいが、せっかくならみんなの望みがかなった施設ができるといい。
科学館やプラネタリウム、屋内プールなど、屋内外どちらでも小さい子から中学高校までの幅広い子供たちが楽しめる施設がいい。岡崎市は室内で遊べるところが少ないと感じる。
会議室も必要と思うが、コロナ禍の中ズームなどでできることが増えてきているので、需要がなくなっているのでは。
岡崎市の子供施設は未就学児が遊べるが小学生が遊べない施設が多い。小学生も遊べて、幼稚園児も遊べるような施設をつくってもらえると両方いたときに助かる。
最先端のプログラムを組める人を育てるとか、最先端のことができる、ゲームを組む、中高生が本当にやりたいことを自由にやれるような部屋を作ってもらえると一般の人も使え、高みを目指す人も使え、世界に羽ばたくようなプログラマーが出るといい。
東岡崎からこの地域、商業施設、娯楽施設、飲食街が続いている、賑わいづくりにはある程度岡崎の特色ある商業施設も入れていく必要があるのではないかと。昼だけの施設ではなくて、夜の賑わいまでもつな一つの連携がないと生かせない。
コンベンションがホテルとしては必要だが、名古屋のような大きなシティホテルは無理。複合的な経済効果が生まれる商店街の一角のような形。
24時間動かすのはいいが、防犯面が不安。夜河川敷はだれもが入ってこれる。フェスについて、音がうるさいからできない。規制緩和できるのか。周辺のマンションもある。市の方針で、そこに関してはいいという特例を作るとか。
他県からバスで来る人がたくさんいる。バスで来た時のお土産を買う場所がない。お土産のテーマは味噌にし、八丁味噌のソフトクリームとか常設して、味噌饅頭とか味噌テーマのお土産を並べる場所を作ってはどうか。トイレも多めに作る。
365日稼働。インドアはできるが、アウトドアは1、2月や6月の梅雨の時期はリスクがある。アウトドアで150日稼働すれば十分。インドアとアウトドアを合わせて365日は十分考えられる。うまくそこを組み合わせれば稼働率の高いものに。
機能の中で商業、文化芸術機能の二つをコンベンションでこなすのは難しい。
市内外問わず、何度でも、ふらっと立ち寄りたくなる魅力ある恒久的な場となることを期待しています。
せっかく駅の近くののだから、人が集まるものがい。プラネタリウムとか岡崎にないものができたら嬉しい。宇宙をテーマにしたカフェとか併設して欲しい。
コンセプトはよい。利用することを考えると機能性が一番だと思う。プラネタリウムや地層博物館など、子どものためになるものがあると思う。
プラネタリウムや科学館のようなものがあると、子どもたちが喜ぶ。
科学館など、子どもも大人も楽しく学べる場
未来を担う子供たちのための施設があると岡崎にずっと住みたいと感じる一助になるかと思います。例えば、プラネタリウムなどあわせもった科学館などその1つだと思います
岡崎市の規模なら、科学館があり、プラネタリウムがあつてよいと思います。
プラネタリウムや科学実験を体験できる施設が岡崎にはないと思う。子供と一緒に遊びに行ける科学館を含んだ施設を考えてほしい。
近隣の市にあるような、科学館、プラネタリウム施設が岡崎市にもできてほしい。
土間も素敵ではあるが、空間を有効に活用することができるのか、検討が必要である。様々な展示などを行うと土間の雰囲気は壊れてしまわないか心配である。
小さい子どもが遊べる施設、乙川河川敷や籠田公園も散歩で行けるし駅から近いので他の市町村からも来て貰えると思います。
近隣の市町にあるプラネタリウム施設、室内遊具のある多目的に遊べる施設など、子供たちが安心して学んだり遊んだりできる施設があるといいと思います。
市民がゆつたりとくつろげる場所であるといいと思うが、せっかくの施設跡地なので、子どもの為になる施設が建つといいと思う。岡崎市は他市に比べて、科学館などの施設が少なく、社会見学に行くにも他市にまで足を運ぶ必要がある。プラネタリウムなどができるといいと思う。
子どもたちが自然や科学を学べるような施設を建設していただきたい。
子どものための身体を使って遊ぶ、調べる施設。キッズシアのようにちよとした職場体験もできるといいなど、存分に遊ぶ。岡崎にもそんな施設が欲しいと思います。
現在岡崎市に無い、科学館やプラネタリウム等の理科教育に関する施設があった方がよい。
子供たちの理科離れと言われる昨今、科学館やプラネタリウムなど周りの市に足を運ばなければならず、身近に科学に触れられる場所が欲しいと思う。
老若男女みんなが、楽しめる場所になって欲しい。例えば、科学的な実験ができた、調理実習をしたりする場。またプラネタリウムがみられたら最高です。
りづらや岡崎城など文化的歴史的な施設に加え、自然科学的なことが学べる科学館のような施設があると良いと思います。簡単な化学実験ができたり、クイズで学べるコーナー、プラネタリウム、乙川の魚や岡崎の動物、鳥の紹介コーナーもあるといいです。
土間の活用イメージは賛成。縁側も加えたい。
ホテルとコンベンションは運用上、資産管理上、別築が良いのでは。
ホテルは見直しの対象ではないが、愛知県と名古屋市が実施しているホテル補助のような制度で、地元資本のホテルを刷新。
大河ドラマの「どうする家康」の記念館を作って欲しい。撮影スポットや秘話などを展示して、観光客を呼びたい。こんな機会は滅多にないのだから活用するしかない。
プラネタリウムを作って欲しいです。
科学館またはプラネタリウム
土間は素敵ですが、今一使い方がイメージできません。ホテルやレストランも良いですが、近隣にたくさんあります。それよりも、科学館やプラネタリウム施設をつくり、子供や孫が学べる場があればうれしいです。実際、名古屋の科学館は楽しかったけど、遠い。もっと身近に科学にふれられる場所があれば、興味関心が湧くと思う。
「土間」は少し暗いイメージ。内と外をつなぐというよりはボーダレスであってほしい。

いただいた御意見（９月）
「子ども図書館」を提案。太陽の城のコンセプト継承。子どもたちの感性や想像力を育む施設。SDGsへの取組を実現できる場。景観にマッチした有機的なデザインかつ観光にも寄与するシンボリックな建築物として住民主体、地域に長く愛される施設の設置を期待。
岡崎市には、美術館やホールはいくつかありますが、科学館など、理科に触れることのできる施設がありません。プラネタリウム、科学館などの施設が整備されると、とても嬉しいです。
健康寿命を延ばすために気軽に運動ができるアスレチック施設
ストレスや日々の疲れを癒し、心静かにできるプラネタリウム
今までの市民の意見を見て、なぜ士間に辿り着いたのが理解出来ない。市民の様々な意見を取り入れた施設を作ってもコンベンションホールとして中途半端な施設が出来るのではないかと不安。
計画通りのコンベンションホールでいい。レセプションも行える様な施設があればそれに伴って市外から岡崎市を訪れる人を増やせてお金を使って貰える機会が増えると思う。
福祉や子供の為の施設という意見もあるが、わざわざ商業利用価値のある場所に作らず別の所に作れば良いと思う。
三菱地所のシティホテルを誘致するのであれば、ホテルに見合うコンベンションホールにして欲しい。市民が使うには利用料が高いという意見があるのであれば、今後大規模改修が必要な竜美丘会館を閉館、コンベンションホールと統括し岡崎市民のみ低料金で使える特別料金枠を設ければ良いと思う。
身近な場所に科学館やプラネタリウムがあると子供の興味も高まると思います。交通機関が盛んな場所の為、誰でも足を運べるので、ぜひ科学館やプラネタリウムを作って欲しい。